

令和8年度 第1回 伊勢原市立子ども科学館運営協議会 会議録

〔開催日時〕 令和8年7月10日（金曜日）午後1時30分から

〔開催場所〕 伊勢原市立図書館会議室

〔出席者〕

（委員）

会 長 臼井 裕二

副 会 長 藤木 隆

委 員 北村 雅彦

委 員 諏訪 千恵美

委 員 榎並 幸与

委 員 藤尾 克彦

委 員 佐藤 泰代

（事務局）

教 育 長 宮村 進一

教育部長 熊澤 信一

図書館・子ども科学館

館長(兼)施設管理係長 秋山 喜則

施設運営係副主幹 塩田 麻美

事業運営係主事 柏木 あずみ

会計年度任用職員 内田 淳子

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者〕 なし

《会議次第》

〈委嘱式〉

- 1 委嘱状交付
- 2 委員自己紹介

（協議会）

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長あいさつ

4 議 題

- (1) 子ども科学館事業について
 - ① 令和7年度事業報告
 - ② 令和8年度事業計画
- (2) 小学6年生向け移動教室の対応変更と無料投影について
- (3) その他

5 閉 会

《議事経過》

1 開 会

(事務局)

過半数（7名中7名）の委員出席による協議会の成立について報告

2 教育長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 題

(1) 子ども科学館事業について

① 令和7年度事業報告

(事務局)

配布資料に基づき、令和7年度事業実績について説明

①資料：「令和7年度版 伊勢原市立子ども科学館年報」

【質疑応答】

(委 員)

令和7年度観覧者数の「その他」の項目が、前年度に比較して大幅に増加しているのはなぜか。幼稚園や保育園の児童などが含まれているのか伺いたい。

(事務局)

「その他」は無料で観覧した人数であり、未就学児や幼稚園、保育園の児童も含んでいる。

(委 員)

前回観覧者の分析を行った際に、未就学児の参加は少なく、これを強化するための取り組みがあると聞いた。幼児のための番組投影や取り組みの具体例はあるか。

(事務局)

幼児のためのプラネタリウム上映会として、「はじめてのプラネタリウム」を実施した。このイベントは乳幼児を対象としており、上映中に子どもが泣いて中途退場を懸念する親子に向けて企画しており、この分が統計に反映されたと考える。

また、屋上外壁改修工事の騒音等の理由から実施した「無料投影ほしぞらタイム」も、普段プラネタリウムを利用しなかった家族が参加するきっかけづくりとなった。

② 令和8年度事業計画

(事務局)

配布資料に基づき、令和8年度事業計画について説明

②資料：「令和8年度図書館事業予定」「日本遺産大山詣り特別展示について」

【質疑応答】

特になし。

(2) 小学校6年生向け移動教室の対応変更と無料投影について

(事務局)

配布資料に基づき、令和8年度事業計画について説明

③資料：「小学校6年生向け移動教室の対応変更と無料投影について」

【質疑応答】

(委 員)

今年は、石田小学校でも6年生は科学館に行かず、科学館職員が学校に来て実施したが、メリットとデメリットを感じている。往復の移動時間が不要な点は良いし、科学館が持ち込む顕微鏡で観察できるという部分も変わらないが、科学館自体に行くという経験機会を失うため、その点がマイナスとして挙げられる。市内6年生を対象とした夏の

プラネタリウムについては、無料投影時の入場者数や、学校ごとの人数差などがわかれば教えてほしい。学区によって行きやすさに違いがあると思う。

(事務局)

できる範囲になるが、情報を収集する。

(委員)

現在、観察に使用しているミジンコなどは、県の総合教育センターから配布されているが、その事業が終了するという話を聞いている。小学校の理科の授業での観察が必須な中で、終了した場合、伊勢原の小学校に与える影響や、科学館で補完が可能かなどを伺いたい。

(事務局)

現時点では、微小生物の配付が縮小、中止になるという情報はこちらに共有されていないため、各学校教育カリキュラムにどのような影響があるかはわからない。

(委員)

現状、学校は総合教育センターを利用しているか。

(委員)

伊勢原市の場合は科学館から配付されている。

(委員)

科学館はミジンコなどをどのように入手しているのか。

(事務局)

総合教育センターから入手したものを培養し、学校の依頼に対し配付している。

(委員)

総合教育センターへ状況を確認してほしい。また、昔は田んぼの水からミジンコが捕れたが、今は難しいのか。

(委員)

科学館で実施する大人の科学実験教室では、田んぼの水から採集したミジンコの観察を行っていた。この水から培養して使うことはできないか。

(事務局)

確実なことは言えないが、複数の生物が混ざった田んぼの水から、1種類の生物のみを取り出して増やすのは難しいと思う。

(委員)

科学館での観察なら、その場でミジンコを1匹吸い出し観察するのは可能だが、出張先で生徒たちに一斉に見せる分を準備するのは、難しいと理解する。

(3) その他

(事務局)

科学館に対して意見や要望があれば各委員から伺いたい。

(委員)

理科や科学に詳しい先輩職員からのノウハウはどう引き継いでいくのか。

(事務局)

元教員の方や支援員の方々にも協力いただいている。

(委員)

サイエンスクラブで、理科に興味を持つ子たちが育っている。この人材をまとめることができると良いのではないか。

(委員)

幼稚園では、毎年年長児を対象にプラネタリウムの鑑賞後、科学館で遊ぶ時間を取っているが、「はじめてのプラネタリウム」の話を受け、年少児が来館しても大丈夫かと思った。また、展示物で遊ぶ子どもたちに、支援員から展示物の解説が聞けると

さらに知識が深まると思う。

(委 員)

先ほど出た生物の培養の話だが、ミジンコが見たいからといってミジンコだけ抽出する必要があるのか。複数の生物がいる中で、それぞれについて教える形でも良いのではないか。また、授業の対象を子どもに限定せず、科学好きな大人も交えて学ぶ機会があってもよい。最近は大学生でも器具の使い方の分からない生徒がいる。今後子どもたちに向けて、実験器具の使い方について学べる基礎的な講座があるとよい。

(委 員)

子どもたちが科学に興味を持つことはとても大事なことだ。他にも楽しいことがたくさんある社会環境の中で、自然を身近に感じ、興味を持つ環境をこの科学館が作っていると思うと、とても嬉しく思う。

(事務局)

課題について、すぐに対応できないこともあるが、科学館としてどうしていくか検討していく。引き続きご協力いただきたい。

午後 2 時 2 0 分閉会